

NASシステムと従来のDVDチェンジャーの違いの比較

	NASシステム	DVDチェンジャー
拡張性	ネットワーク上にNASを接続するだけです。 接続が非常に容易です。 画像発生量に合わせてNASの容量を選択可能 柔軟な拡張性 評価	チェンジャーの筐体の容量(2.8TB)単位の増設 柔軟な拡張が苦手 DVDを制御するサーバが必要です。 評価 ×
経済性	年々ディスクのコスト低減に比例してNASのコストも低下傾向 数年先には同じ予算でより大きなNASを増設可能 評価	チェンジャーは時代遅れの技術・・・? 価格が年々安くなることはない 評価
迅速性	全て画像ディスク上にあるので、数秒で画像を取得表示することが可能である。 評価	DVDメディアのマウント等で、画像取得までに約50秒必要とする。 評価 ×
保存性	RAID5構成生まれ、データの冗長性を持たせて安全性を確保している。 ホットスワップ機能を有し、ディスク障害時でも運用を止めないでディスク交換が可能 評価	冗長性がないためデータを失う可能性がある 評価
データ移行	将来、既存のNASのサポートがなくなった場合、NAS to NASで容易に、かつ短期間でデータ移行が可能である。 評価	将来、DVDチェンジャーのサポートがなくなった場合、Disk等へのデータ移行は数ヶ月 ¹ を要する。 評価 ×